2025 年度事業計画概要

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

新材料及びこれに関連する科学技術分野における助成事業（**公益事業 1**）及び科学技術啓蒙事業（**公益事業 2**）を実施する。

公益事業 1

1. 研究助成

1-1. 研究助成

新材料及びこれに関連する科学技術分野で、新規材料開発の基礎並びに応用を指向する独創性の高い研究を対象とし、大学等に常勤する 45 才未満の研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2025 年度（第 37 回）研究助成の実施

2025 年 3 月の第 84 回（公益認定後第 37 回）理事会で承認・決定した 13 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 2,000 千円、総額 26,000 千円。

(2) 2026 年度（第 38 回）研究助成の公募

公募期間は 2025 年 8 月 1 日から 9 月 19 日。選考委員による書類審査を経て、2025 年 11 月 27 日の選考委員会において候補者を選出する。

1-2. スタートアップ助成

上記 1-1. 研究助成の対象者のうち、学位取得後 10 年以内及び現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2025 年度（第 5 回）スタートアップ助成の実施

2025 年 3 月の第 84 回（公益認定後第 37 回）理事会で承認・決定した 15 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 1,000 千円、総額 15,000 千円。

(2) 2026 年度（第 6 回）スタートアップ助成の公募

公募期間は 2025 年 8 月 1 日から 9 月 19 日。選考委員による書類審査を経て、2025 年 11 月 27 日の選考委員会において候補者を選出する。

1-3. 発展研究助成

上記 1-1. 研究助成の直近の助成修了者を対象とし、当該研究助成の発展・展開が期待される研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2025 年度（第 6 回）発展研究助成の実施

2025 年 3 月の第 84 回理事会（公益認定後第 37 回）で承認・決定した 2 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件 5,000 千円、総額 10,000 千円。

(2) 2026 年度（第 7 回）発展研究助成の選考

2024 年度研究助成の終了者（13 名）が対象。2024 年 11 月 27 日の選考委員会において候補者を選出し、2026 年 3 月の理事会で承認・決定する。

2. 国際交流助成

海外で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際会議への参加に対して費用の一部を助成する。

(1) 2025 年度（第 38 回）国際交流助成の実施

選考委員による審査選考にて選出し、2025 年 5 月の第 85 回理事会（公益認定後第 38 回）で承認・決定する 12 名に助成金を贈呈する。助成額は最高 450 千円、総額 4,500 千円。

(2) 2026 年度（第 39 回）国際交流助成の公募

公募期間は 2026 年 2 月 1 日から 3 月 19 日。選考委員による書類審査を経て候補者を選出する。

3. 国際シンポジウム助成

国内で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際シンポジウムに対して費用の一部を助成する。

(1) 2025 年度（第 36 回）国際シンポジウム助成の実施

2025 年 3 月の第 84 回（公益認定後第 37 回）理事会で承認・決定した 8 件について、助成金を贈呈する。助成額は 1 件 300 千円、総額 2,400 千円。

(2) 2026 年度（第 37 回）国際シンポジウム助成の公募

公募期間は 2025 年 8 月 1 日から 9 月 19 日。選考委員による書類審査を経て、2025 年 11 月 27 日の選考委員会において候補者を選出する。

4. 研究成果報告会

2025年11月27日～11月28日、(株)トクヤマ 徳山製造所において、2024年度の
研究助成者、スタートアップ助成者および2023年度の発展研究助成者による第28回
研究成果報告会を開催する。

公益事業 2

科学技術啓蒙助成

将来を担う世代を対象とした科学技術の普及啓蒙事業に対して助成する。

(1) おもしろワクワク化学の世界展

青少年を対象に(公社)日本化学会中国四国支部が主催する演示実験会「おもしろワクワク化学の世界展」に対して助成する。助成額は2,000千円。

(2) 少年少女発明クラブ

(一社)山口県発明協会等が支援する少年少女発明クラブに対して助成する。
助成額は1クラブ50千円、7クラブ、総額350千円。

2025年度（第37回）研究助成

（13件、総額26,000千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	小阪田泰子	43	准教授	大阪大学 産業科学研究所 第三研究部門	高活性な有機高分子光触媒のメカノケミカル合成	2,000
2	川谷諒	32	助教	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 理工学域 応用化学系	フォトレジストを志向した主鎖分解性アクリルポリマーの開発	2,000
3	小嶋隆幸	39	助教（テニュアトラック）	信州大学 繊維学部 化学・材料学科	ホイスラー合金触媒中のSnによる炭素鎖の切断・結合メカニズムの解明	2,000
4	後藤真人	35	助教	京都大学 化学研究所 附属元素科学国際研究センター	異常高原子価イオンの価数不安定性を生かした巨大マルチ熱量効果材料の開発	2,000
5	小林裕一郎	42	助教	大阪大学 大学院理学研究科 高分子科学専攻	硫黄ポリマーにおける逐次重合法の確立と次世代高分子材料の創製	2,000
6	崔允寛	41	准教授	島根大学 材料エネルギー学部 材料エネルギー学科	カリウムカルボアニオンを利用したアリルオキシシランのレトロ-1, 4-Brook転位反応の開発	2,000
7	迫野奈緒美	42	准教授	富山高等専門学校 物質化学工学科	ハイエントロピー合金の合成を目指した多元素金属ナノ粒子の新規合成法の開発	2,000
8	鈴木康介	42	准教授	東京大学 大学院工学系研究科 応用化学専攻	優れた活性と耐久性を両立する無機-有機複合光触媒の開発	2,000
9	谷岡卓	34	助教	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	『HAT型光治療』の開拓と、ライソゾーム病の新規治療法への展開	2,000
10	堂本悠也	42	准教授	群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門	銀クラスターの超分子配位チューニングによる温度応答性発光材料の開発	2,000
11	長谷川拓哉	35	講師	東北大学 多元物質科学研究所 環境無機材料化学研究分野	溶融塩アニーリングプロセスによる高感度非接触型蛍光温度計用ジルコニア蛍光体の蛍光効率の改善	2,000
12	村井健一	44	教授	和歌山県立医科大学 薬学部 薬学科	シリルジアゾメタン独自調製法を基盤とする多様なシラサイクル構築法の開発	2,000
13	弓場英司	42	准教授	大阪公立大学 大学院工学研究科 化学バイオ工学分野	炎症細胞標的化型ヒアルロン酸誘導体による炎症疾患治療システムの開発	2,000

2025年度（第5回）スタートアップ助成

（15件、総額15,000千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	明石優志	29	特任助教	熊本大学 産業ナノマテリアル研究所 バイオマテリアル部門	ペロブスカイト型量子ドット材料が示す超高効率発光のメカニズム解明	1,000
2	笠間建吾	31	助教	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	高原子価鉛触媒によるフェノール変換反応	1,000
3	近藤吉史	29	助教	大阪大学 産業科学研究所 先端ハード材料研究分野	ペロブスカイト型酸化物の形態制御と圧電触媒機能	1,000
4	佐伯龍聖	29	助教	九州大学 大学院工学研究院 材料工学部門	電鑄・剥離法により作製された超微結晶組織を有する銅合金薄板の機械的特性評価	1,000
5	酒井求	36	講師	早稲田大学 先進理工学部 応用化学科	有機金属構造体の結晶形態制御手法の開発	1,000
6	坂部将仁	32	助教	東洋大学 理工学部 応用化学科	重い第15族元素カチオン種のLewis酸性を基盤とした有機触媒への応用研究	1,000
7	竹入史隆	36	講師	近畿大学 理工学部 理学科化学コース	高いイオン導電性と化学安定性を両立するヒドリドイオニクス材料の開発	1,000
8	土肥侑也	36	准教授	山形大学 大学院有機材料システム研究科 有機材料システム専攻	単分散二次元シート状高分子の調製と分子特性評価	1,000
9	久野尚之	30	助教	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻	ホスト-ゲスト錯体が形成する結び目構造を基盤とした新奇ポリマー材料の創出	1,000
10	増田涼介	30	助教	学習院大学 理学部 化学科	新規典型元素触媒の開発と炭素-炭素結合形成反応への応用	1,000
11	眞邊潤	28	助教	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻	籠状分子内での分子運動を利用した強誘電性の探査	1,000
12	安川直樹	32	助教	名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻	新しいホウ素官能基の提唱；クリーンエネルギーを利用した革新的導入法の開発と機能評価	1,000
13	山岡賢司	29	特任助教	大阪大学 大学院理学研究科 高分子科学専攻	界面拡散制御に基づく自己修復性高分子の修復速度の制御	1,000
14	李 恒	29	助教	中央大学 理工学部 電気電子情報通信工学科	カーボンナノチューブ膜を用いた光熱電変換におけるマテリアルズインフォマティクスへの新展開	1,000
15	LI FENG	36	助教	北海道大学 大学院工学研究院 応用化学部門	セルロース由来原料を用いた新規機能性ポリエーテルの合成開発	1,000

2025年度（第6回） 発展研究助成

（2件、総額 10,000 千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	河野真一郎	46	講師	名古屋大学 大学院理学研究 科	大環状化合物の孤立空間を利用した多孔性液 晶の機能開拓	5,000
2	山科雅裕	36	助教	東京科学大学 理学院	有機分子の個相自己組織化に基づくキラル光 機能材料の創成	5,000

2025年度（第38回）国際交流助成

（12件、総額4,500千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	会議名（機関・場所）	研究題目	助成額 （千円）
1	牛丸理一郎	36	准教授	九州大学 高等研究院	第1回日豪生合成セミナー (2025/08/29-2025/08/29)、シドニー[オーストラリア]	海洋生物由来生体触媒材料の開発と応用	350
2	桶谷龍成	33	助教	大阪大学 大学院基礎工学研究科	第26回有機固体化学国際会議 (ICCOSS 2025) (2025/07/13-2025/07/18)、カンクン[メキシコ]	単結晶-単結晶構造転移に伴う新奇キラル対称性の破れ	450
3	Gao Tianle	27	特任助教	北海道大学 大学院工学研究院	環太平洋国際化学会議 2025(Pacificchem 2025) (2025/12/15-2025/12/20)、ホノルル[アメリカ・ハワイ]	モノマー配列制御開環共重合：ポリ(エステル-アミドエステル)の精密合成	350
4	小鯖匠	30	助教	東京科学大学 物質理工学院	ヨーロッパ腐食連合年次講演大会 2025 (EUROCORR 2025) (2025/09/07-2025/09/11)、スタヴァンゲル[ノルウェー]	AA5083合金のAl ₆ (Fe, Mn)粒子起点の腐食: Mg ₂ Si粒子溶解の影響	450
5	清水大貴	33	助教	京都大学 大学院工学研究科	環太平洋国際化学会議 2025(Pacificchem 2025) (2025/12/15-2025/12/20)、ホノルル[アメリカ・ハワイ]	π 共役系における交換相互作用の制御に基づく機能開拓	350
6	中安祐太	34	助教	東北大学 学際科学フロンティア研究所	第14回超臨界流体に関する国際シンポジウム-第9回国際ソルボサーマル・ハイドロサーマル協会会議 (ISSF-ISHA 2025) (2025/06/15-	全有機電池に資する超臨界CO ₂ を用いたキノン含浸多孔質炭素の構造解析	250
7	仲谷学	34	助教	城西大学 理学部	環太平洋国際化学会議 2025 (Pacificchem 2025) (2025/12/15-2025/12/20)、ホノルル[アメリカ・ハワイ]	二酸化炭素に応答する分子性スピコン変換材料の開発	350
8	久富隆史	42	教授	信州大学 アクア・リジェネレーション機構	第12回先端技術材料に関する国際会議 (ICMAT 2025) (2025/06/30-2025/07/04)、サンテック[シンガポール]	ソーラー水素製造用ナローバンドギャップGa _{0.5} N:ZnO固溶体光触媒	250
9	山口博則	42	准教授	大阪公立大学 理学研究科	第19回分子磁性国際会議 (ICMM) (2025/10/27-2025/10/31)、ボルドー[フランス]	近藤ネックレスの実現と磁場スイッチング機能の発現	450
10	山口実奈	29	助教	東北大学 環境科学研究科	第21回固体と液体の拡散に関する国際会議 (DSL2025) (2025/06/23-2025/06/27)、ナポリ[イタリア]	固体酸化物形燃料電池の電解質応答にNiの酸化還元が与える影響	450
11	山本耕介	37	助教	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科	環太平洋国際化学会議 2025 (Pacificchem 2025) (2025/12/15-2025/12/20)、ホノルル[アメリカ・ハワイ]	アミノジールの銅触媒不斉非対称化を鍵とする光学活性アジリジンの合成	350
12	山本俊介	40	准教授	京都大学 工学研究科	nanoGe Materials for Sustainable Development Conference (MATSUS Fall 25) (2025/10/20-2025/10/24)、バレンシア[スペイン]	有機電子イオン混合伝導体のオパランド分光	450

2025年度（第36回）国際シンポジウム助成

（8件、総額2,400千円）

No.	会議名称	開催期間・場所	主催団体名	組織/実行委員長	参加者（人）			助成額 （千円）
					国内	海外	合計	
1	分子量子力学2025（MQM2025）	2025/05/23-05/28 京都テルサ（京都市）	MQM2025実行委員会	組織委員長 京都大学 教授 佐藤啓文	200	100	300	300
2	第1回量子コンピューターと量子センサーを指向した分子スピン量子ビットに関する国際会議（ICMSQ2025）	2025/06/07-06/10 東北大学金属材料研究所講堂（仙台市）	ICMSQ2025実行委員会	実行委員長 東北大学 名誉教授 山下正廣	60	50	110	300
3	第9回レーザ先端材料加工国際会議（LAMP2025）	2025/06/10-06/13 シンフォニアテクノロジーホール伊勢（伊勢市）	一般社団法人レーザ加工学会	組織委員長 岡山大学 准教授 岡本康寛	200	150	350	300
4	第26回非接触型原子間力顕微鏡に関する国際会議（NC-AFM2025）	2025/08/03-08/08 オーバード・ホール（富山市）	NC-AFM2025実行委員会	実行委員長 物質・材料研究機構 グループリーダー 川井茂樹	120	80	200	300
5	第17回非晶質固体の物理に関する国際会議（PNCS17）	2025/08/10-08/13 つくば国際会議場（つくば市）	第17回非晶質固体の物理に関する国際会議実行委員会	実行委員長 物質・材料研究機構 グループリーダー 小原真司	100	50	150	300
6	第16回有機金属・超伝導体・強磁性体に関する国際会議（ISCOM）	2025/10/01-10/06 ロワジールホテル豊橋（豊橋市）	有機金属・超伝導体・強磁性体に関する国際会議組織委員会	議長 分子科学研究所 教授 山本浩史	150	50	200	300
7	固体化学国際シンポジウム（ISSSC）2025	2025/12/02-12/05 島根県立産業交流会館くまびきメッセ（松江市）	京都大学	組織実行委員長 京都大学 教授 陰山洋	150	150	300	300
8	第18回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム／第19回プラズマナノ科学技術国際会議（ISPlasma2026/IC-PLANTS2026）	2026/03/02-03/06 名城大学（名古屋）	応用物理学会	ISPlasma2026/IC-PLANTS2026 組織委員長 名城大学 教授 平松美根男	250	200	450	300

（開催日順）

2025 年度 科学技術啓蒙助成

事業名称	おもしろワクワク化学の世界 '25 岡山化学展
助成額	2,000 千円
主催	公益社団法人 日本化学会中国四国支部
共催	公益財団法人 徳山科学技術振興財団
後援	岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山大学、岡山理科大学、（公財）岡山県産業振興財団、岡山地区化学工学懇話会（いずれも予定）
大会委員長	犬丸 啓（広島大学 教授、2025 年度日本化学会中国四国支部長）
実行委員長	大久保 貴広（岡山大学 教授）
実行委員	主に岡山大学理学部化学科・工学部化学生命系、および岡山理科大学理学部化学科教員
開催期間	2025 年 8 月 8 日（金）～10 日（日）3 日間
場所	岡山高島屋（岡山市北区本町 6 番 40 号、JR「岡山駅」から徒歩 5 分）
展示ブース	実験ブース数 15 程度
参加対象者	小学校児童、中学校・高等学校生徒およびその保護者、一般
事業概要	化学に関するデモンストレーション（演示実験）、体験実験を通して、21 世紀を担う青少年に、化学や化学技術の重要性、面白さや不思議さを伝えることにより、夢を与えることを目的とする。本化学展により、青少年の素朴な疑問や好奇心を感動につなげる機会を提供するとともに、参加者の化学や化学技術に対する認識も刷新したい。

事業名称	少年少女発明クラブ
助成額	1 クラブ 50 千円（7 クラブ合計 350 千円）
主催	（一社）山口県発明協会、山口県内市町村教育委員会
共催	山口県内市町村、同公共施設、同商工会議所 他
運営組織	各クラブの企画運営委員会
活動期間	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日（1 年間）
場所	山口県内公共施設
参加対象者	小中学生及びその保護者
事業概要	本クラブは、現在全国に 214 のクラブがあり、約 11,000 名の子どもたちが、約 2,800 名の指導員のもと科学的な原理に基づく工作実習、創作活動等の体験学習を行っている。山口県では現在 7 クラブ（下関市、山口市、宇部市、防府市、周南市、柳井市、田布施町）が活動している。本活動は、子どもたちに地域の特徴を生かした創意工夫に基づく創作活動の場を提供し、作品製作や実験を通じて、アイデアを形にする能力と技術を持った創造性豊かな人間形成に寄与することを目的として活動し、有意義な成果が得られている。